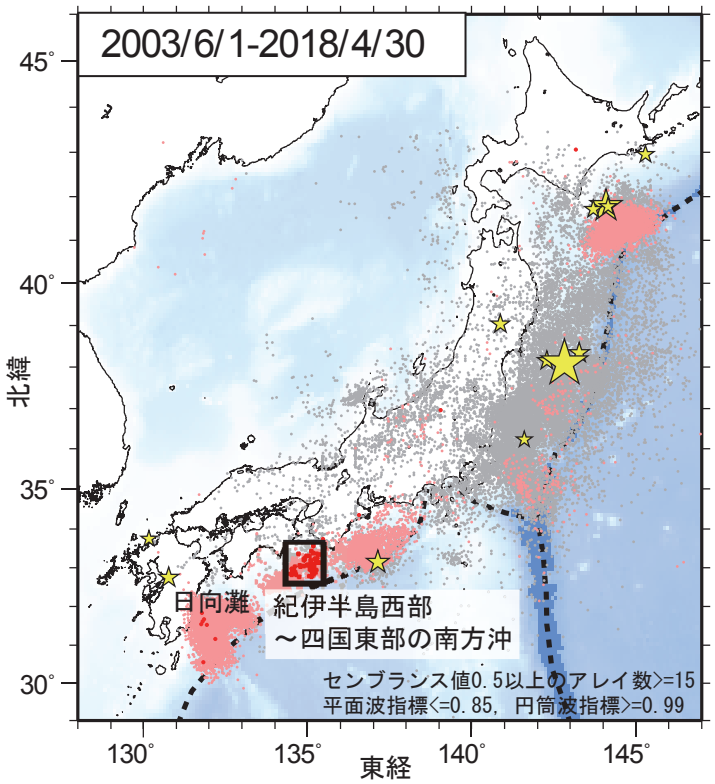
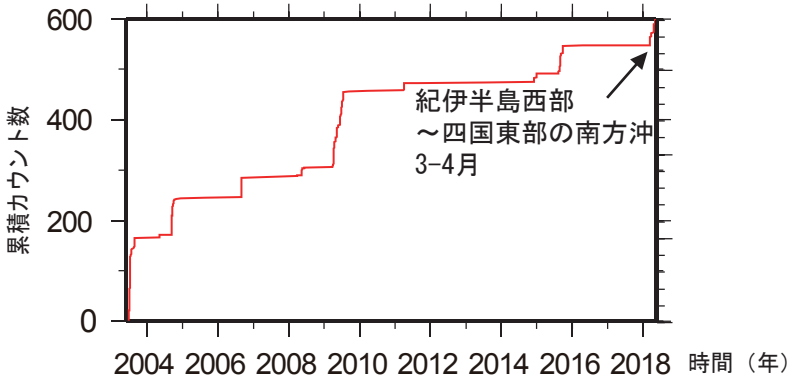
日本周辺における浅部超低周波地震活動（2018年2月～4月）

防災科学技術研究所

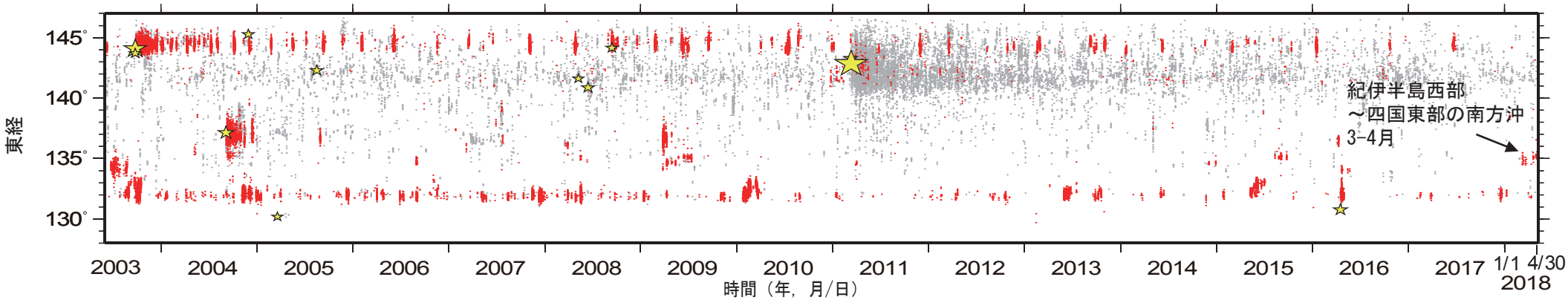


●紀伊半島西部～四国東部の南方沖において，3月から4月に超低周波地震活動（2015年9月以来，約2年ぶり）．
●日向灘においても4月上旬～中旬に超低周波地震が検出されたが，種子島・屋久島以南における活動の誤決定とみられる．

第1図．2003年6月1日から2018年4月30日までの期間にアレイ解析によって検出されたイベントの震央分布．検出イベントを防災科研 Hi-net の手動または自動験測震源と照合し，対応する地震が見出されたイベントを灰色で，それ以外を桃色（2018年1月31日以前），および赤色（2月1日以降）の点でそれぞれ示す．これらは主として周期10秒以上に卓越する超低周波地震を表すが，東北地方太平洋沖地震の発生以降は，除去しきれない通常の地震を含む．期間内に発生した M 7以上の地震（ただし，2011年～2015年の期間は東北地方太平洋沖地震の本震のみ）の震央を黄色星印で示す．



第2図．紀伊半島西部～四国東部の南方沖における検出イベントの累積カウント数の時間変化．幅60秒間の解析時間窓を15秒毎に設定し，それぞれの解析時間窓内にイベントが検出される度に1カウントと数えるよう定義した．



第3図．2003年6月1日から2018年4月30日までの期間に検出されたイベントの時空間分布．検出されたイベントを防災科研 Hi-net 手動または自動験測震源と照合し，対応する地震が見出されたイベントを灰色で，それ以外を赤色の点でそれぞれ示す．その他は第1図に同じ．

防災科学技術研究所資料